

東和地域開校準備委員会 校章・校歌参考資料

1 東和地域の小中学校の校章

校名	米谷小学校	錦織小学校	米川小学校	東和中学校
校章				
備考	<p>「柳に雪（風）折れなし」の例えのように柔軟なものは堅く剛いものより、よく堪えることから「人の言葉に逆らわず、健康で粘り強く心のある児童」の育成を目指す。 （昭和 28 年制定）</p>	<p>平成 20 年度、旧錦織小と旧嵯峨立小の 2 校統合により制定。両校の象徴的な部分を組み合わせ上掲の校章とした。 外側の部分は、旧嵯峨立小学校の校木「旭松」の松葉を組み合わせて図案化。 内側は旧錦織小学校の「錦小」の文字を図案化したものである。 （平成 20 年制定）</p>	<p>新生米川小学校のスタートにあたり、両校の伝統ある校章の米川小の「米」と鱒淵小の竹峯山の「逆さ竹」を融合させ、登米市で二番目にそびえ立つ米川のシンボルである蚕飼山を中央に、米川小の若草山と鱒淵小の竹峯山を配置した。 この山を米川の子供たちに見立て、未来に羽ばたく子供たちを支える竹が、保護者や地区民を表している。豊かな自然の中での子供たちの健やかな成長を願い統合準備委員会で制定した。 （平成 20 年制定）</p>	<p>（昭和 51 年制定）</p>

2 東和地域の小中学校の校歌

米谷小学校	錦織小学校	米川小学校	東和中学校
<p>米谷小学校校歌</p> <p>作詞 小倉 博 作曲 片山 颯太郎</p>	<p>錦織小学校校歌（昭和 21 年）</p> <p>作詞 土井 晩翠 作曲 海鋒 義美</p>	<p>米川小学校校歌（昭和 22 年）</p> <p>作詞 山本 正 作曲 海鋒 義美</p>	<p>東和中学校校歌（昭和 52 年）</p> <p>作詞 扇畑 忠雄 作曲 海鋒 義美</p>
<p>一 山うるわしく 水清き 郷にむかしの あとしのび ほまれもたかき 学舎に 学ぶわれらぞ 幸おおき</p> <p>二 あしたゆうべの わかちなく 流れてやまぬ 北上の 川にのぞめば われらまた 勉め励まで あるべきか</p> <p>三 郷の志づめと 仰ぐなる 稲荷の神も みそなわせ 誠の道を ひとすじに ふみて進まん もろともに</p>	<p>一 宮城のあがた 登米郡 錦織村 北上の 流れに沿える よき郷に わが学園は もとを据う</p> <p>二 日夜にやまず 溶々と 大海さして 流れ行く 水ぞわれらの 教えなる 勉め励まん たゆみなく</p> <p>三 生いたち行かん そのあした 人類愛と 祖国愛 高き理想を 胸に充て 世界平和に つとむべし</p> <p>四 ああ あらたなる 光明の 照らすわが世ぞ 豊かなる 希望にみちて 一斉に 奮い進まん 勇ましく</p>	<p>一 白雲駆ける青空の 紫の山 水清く せせらぎ洗う 山間の 和気満てる この里は 力と汗の 生むところ</p> <p>二 心にえがく 太陽の 明るく強く たくましく 恩恵豊けき 米川の 学びの窓の 明け暮れに 心を磨き いそしまん</p> <p>三 星影凍る 二股の 冬の木枯らし 荒ぶとも 濁りにそまぬ 若草の 真如の月の とこしえに 米川健児の 頭上に照れ</p>	<p>一 山並遠く 見はるかす ふるさとの国 青い空 光りかがやく 希望の瞳 無限の星座 仰ぎ見て 未来をめざす 若い夢 われらの東和中学校</p> <p>二 北上川の うねり行く ゆたかな土と 草の香よ こだまにひびく平和の祈り 真理の教え かえりみて 明るく開く 清い胸 われらの命 とこしえに</p> <p>三 翼を打って 飛ぶ鳥の 自由と強さ 学びつつ 共にいそしむ 素直な心 理想の泉 汲みながら たゆまず進む 白い道 われらの望み 遂げるまで</p>